

JARL NEWS



MARCH 1937.

第 60 號

偶 感

2年程前の事であつたが私は或席上で何事に依らず「何の爲にやつて居るのか」と言ふ認識なしに行ふことは無意味ではなからうか。そして、**アマチュアラヂオ**は「何の爲にやつて居るのか」と言ふ問題を少々潜越乍らお話した事があつた。そして結局次の様な事が**ラヂオアマチュア**存在の意義の一つとして取上げ得るのではないかと言ふ様な事になつた。即ち

- (1) **ラヂオアマチュア**の周囲大きく言へば社會に科學的な空氣を流出散布すること。
 - (2) 國民外交的の效果。
 - (3) 廣い意味にも狭い意味にも國防的の效果
- これ等はいづれも一見甚だ大掛りな申し様の如くであるが私は**ラヂオアマチュア**たらん者は少くとも此くらひの自信と誇りを持ちたいと言ふ氣持を多分に有つて斯く申したのだつた。

さて現時いささか流行語化したものに科學日本とオリムピックとそして非常時とがある。いづれも日常の新聞雑誌、街頭の談話にたへず行はれる語である。流行語と言ふものも或場合一般の關心又は必需を示して居る事があると言ふ點で簡單に見過せないものがある。

そこで私は前記の三つの**アマチュアラヂオ**存在の意義と此三つの流行語とを夫々組合せて考へてみたのである。

「科學日本」の語は大科學者の現れる事を希望する語としてよりも一般大衆の科學的關心の向上を希望する方に重點を有つ語の様に思はれる。「オリムピック」は日本の優勝と言ふ事に對してよりもむしろ他國民同志のへだてのない交友文化的の交渉と言つたものに對しての希望と解すべきは論をまたない。

「非常時」の語は最も難解で最も單純である。しかし軍事組織以外の國防的の意味のあるものが非常時の名に於て呼び求められて居る事は確かである。

流行語だから重視せよと申しては不可であらうけれど我々**ラヂオアマチュア**が一層明確な意識を以て其道に精進をはげむべき時の様に感じるのである。——J2GR——

20 m SIGNAL の SKIP

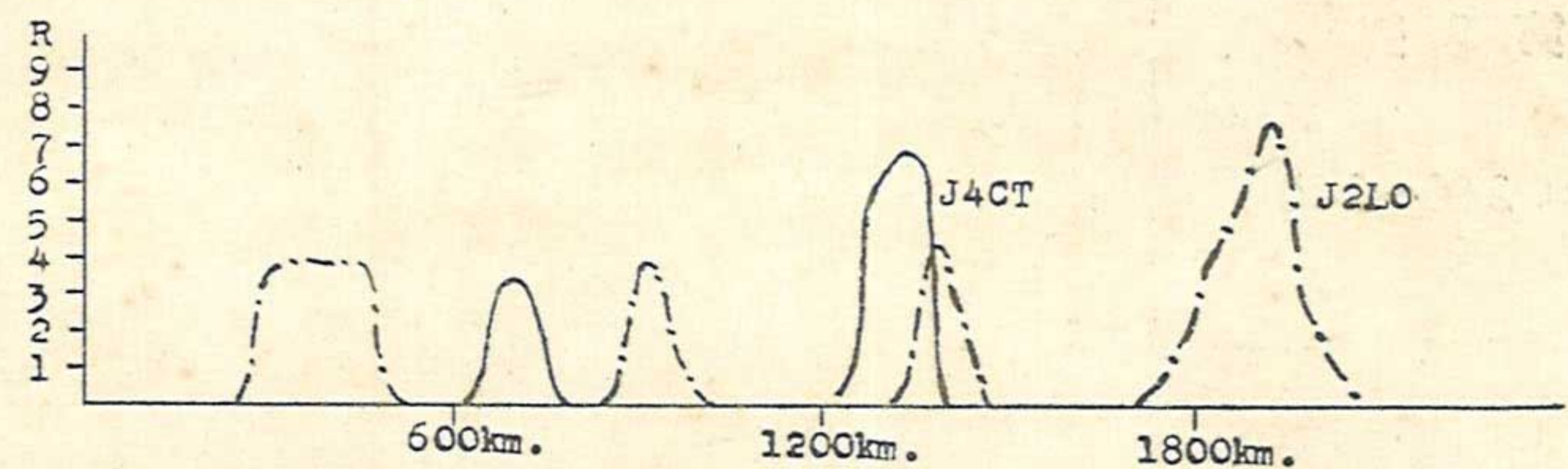
— J 2 K X —

かねてより 14 Mc. band に於ては著じるしく skip effectが現れる事は衆知の事でしたが、その skip の様子はごんな物か不明でした處、或る機會から夜中では或る内地間で 14 Mc. に依ると全く連絡不可能なる事が分りましたので、去年の 9 月初旬 7 Mc. と共に JARL の各位の御援助に依り全國的の感度調査を行ひました。その上皆様の御報告を得ました。J2IO 氏その他の數人の ham に依り此等の報告を基としてまとめられて居ります。私 J2KX もその一部を手傳ひましたので一寸御報告申上げます。主報告は J2IO 氏その他の方々から何づれ出ると思ひます。

集まつたのは二十數局からの御報告で之は test wave 發信局の Sigs. の RST 及びその變化の模様を log して頂いた物で發信局としては 8CD, 4CT, 7CJ, 2LO, 2CB, 2HQ, 5CC, 2IO, 2CC 以上の諸局が交互に約 10分づつ test wave を出し之を全国各地の (J—2.3.4.5.6.7.8.9.MX2) 局で聞いて頂いた物でカーブに書すと 1 第圖から第 4 圖の如くなります。

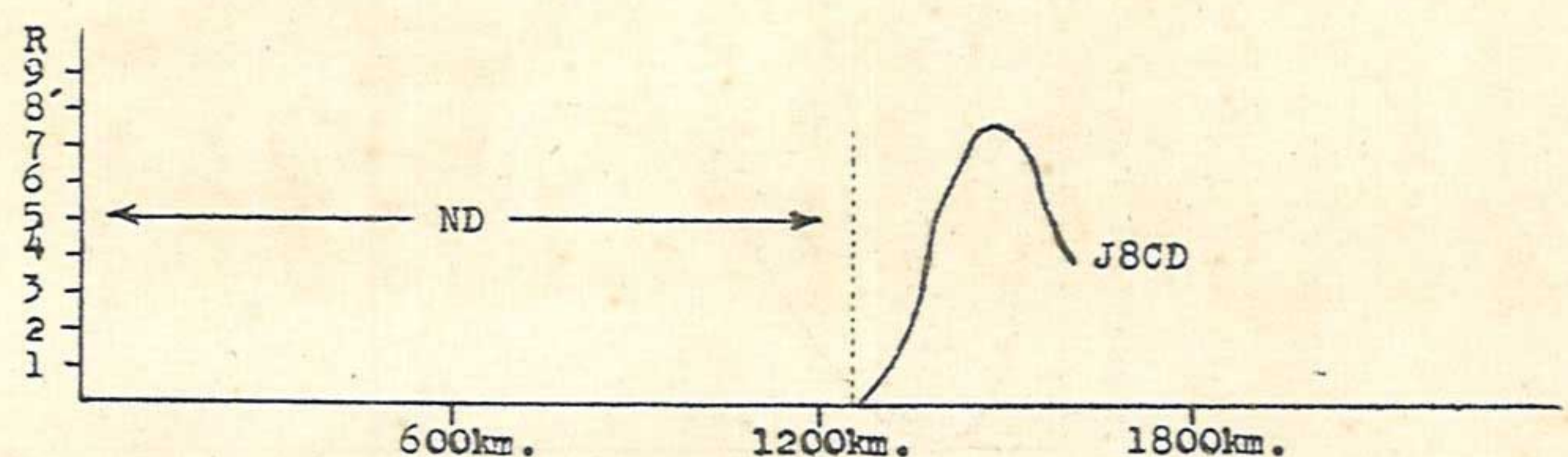
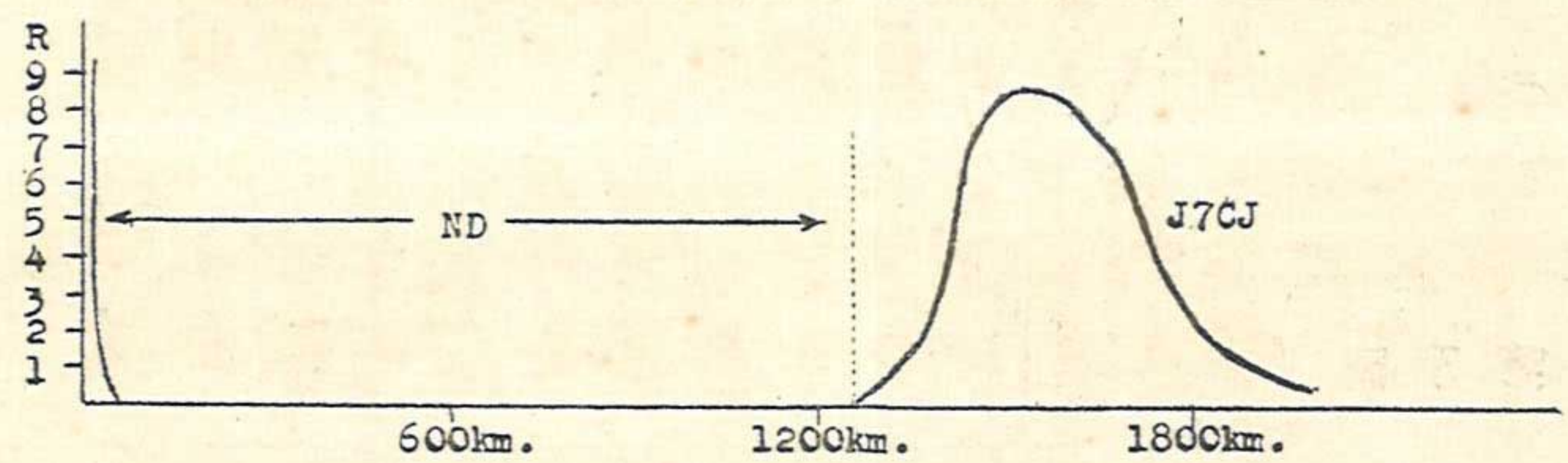
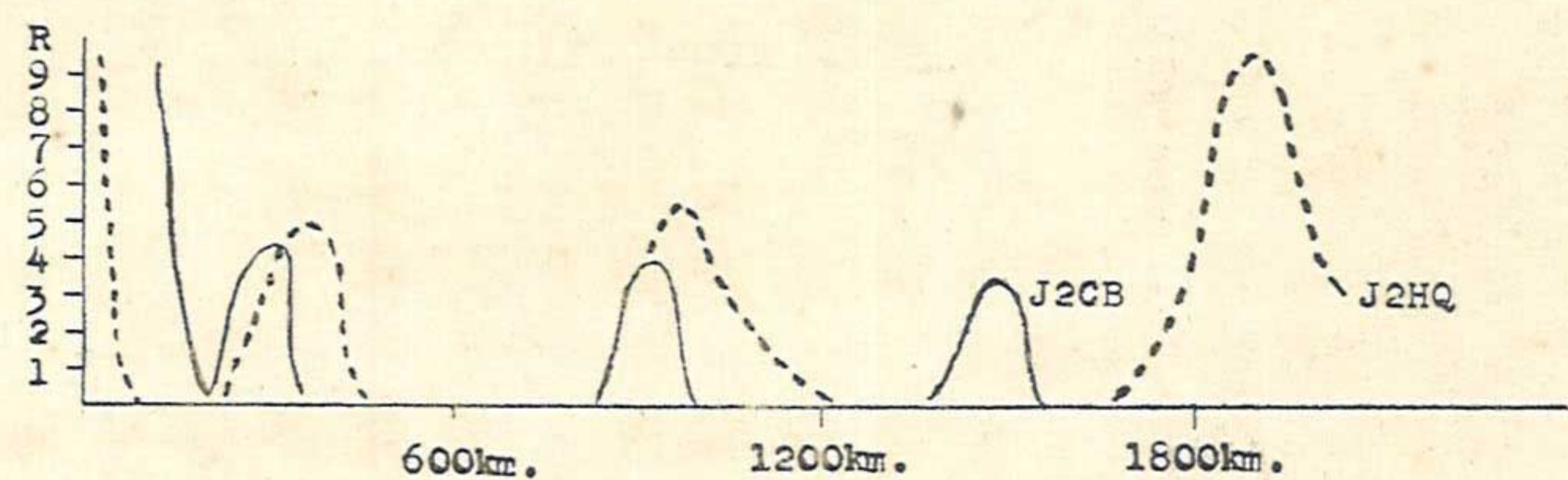
第 1 圖 a.m. 10.00~10.30

2HQ, 2LO, 8CD は大體同じ傾向で 100km.~300km. で最初の skip を生じた後は略 R7~8 程度を維持し、之が 2000km. 位で幾分落ちる様で

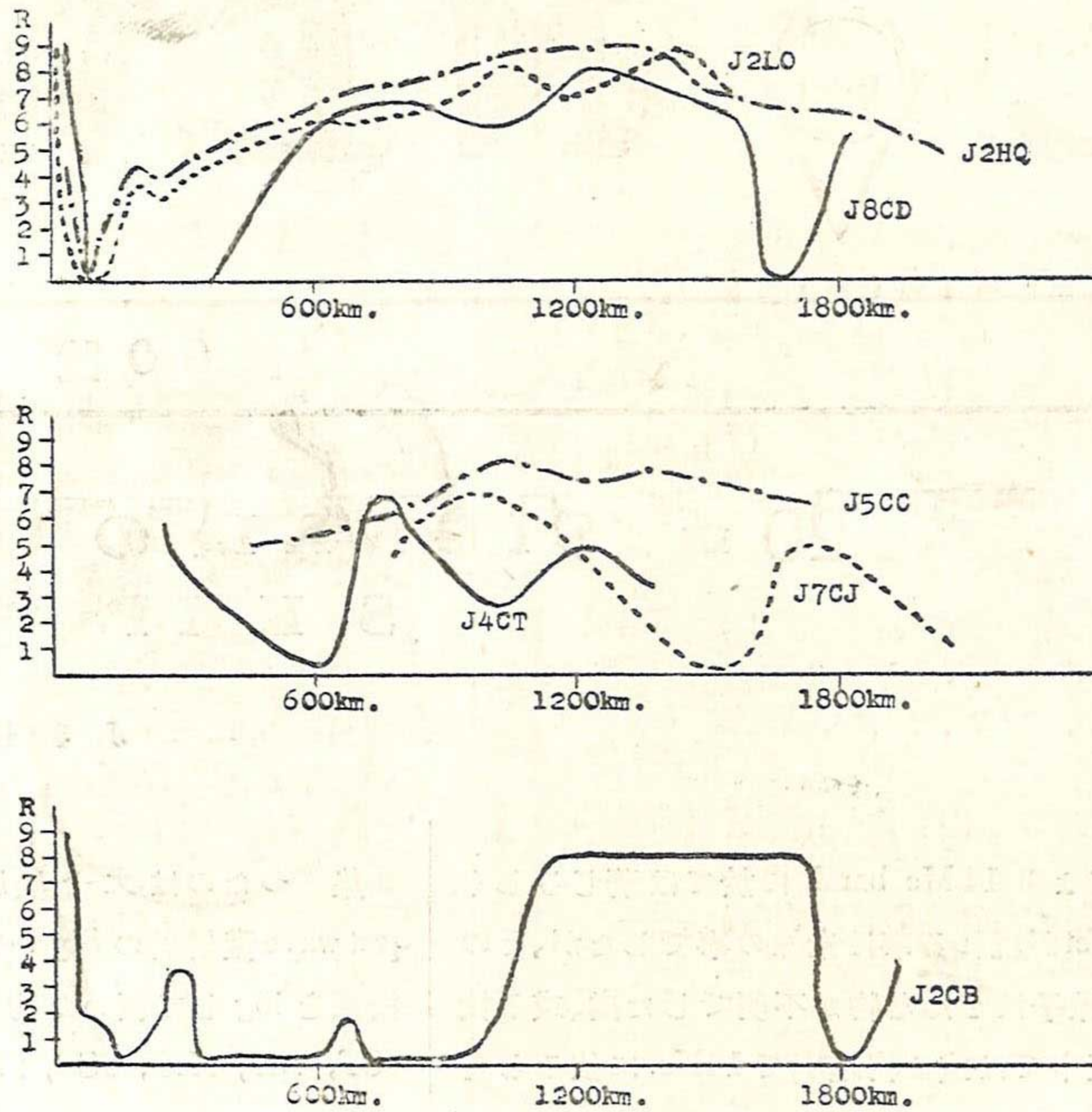


第 4 圖

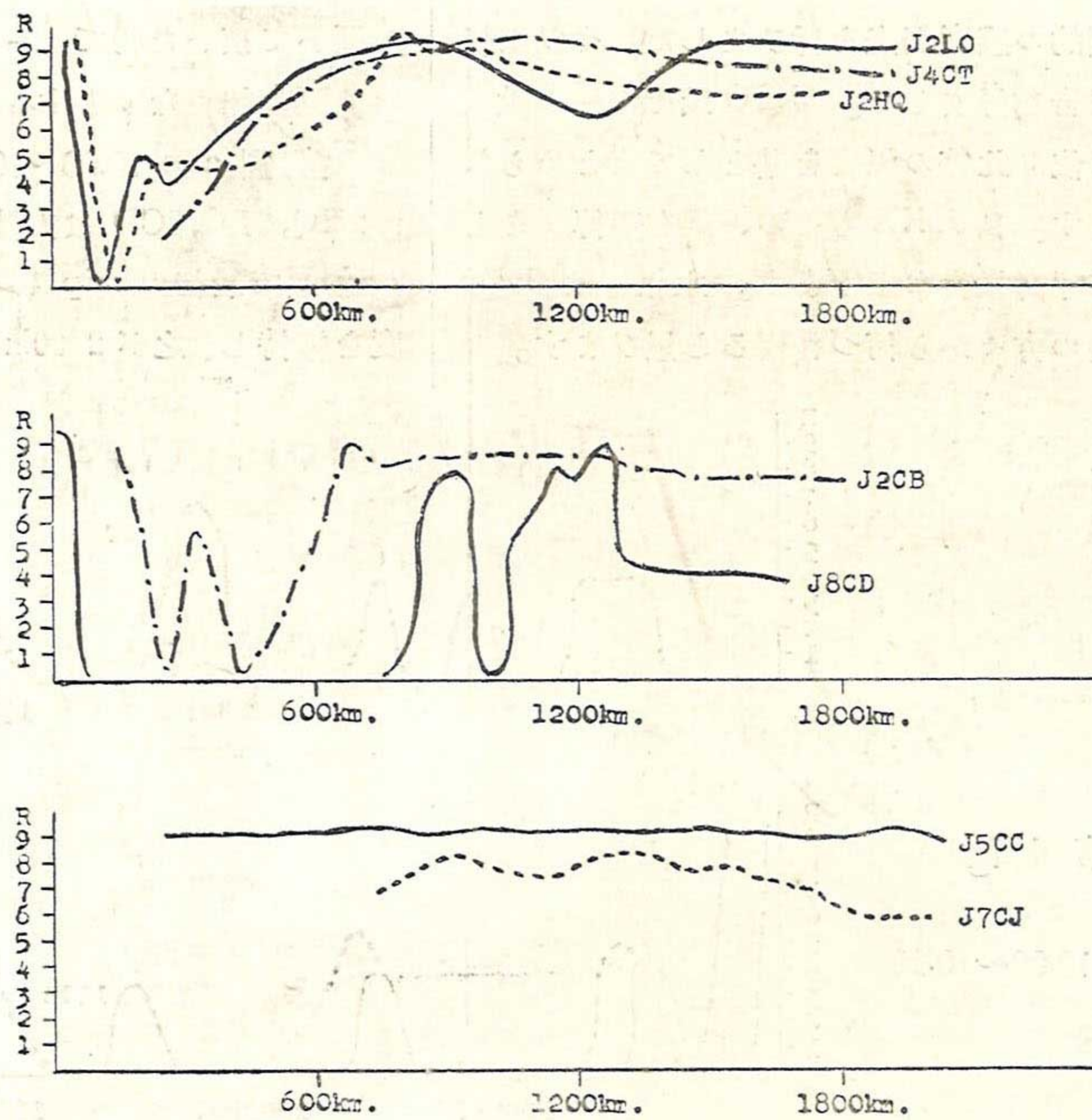
p.m. 10.00~10.30



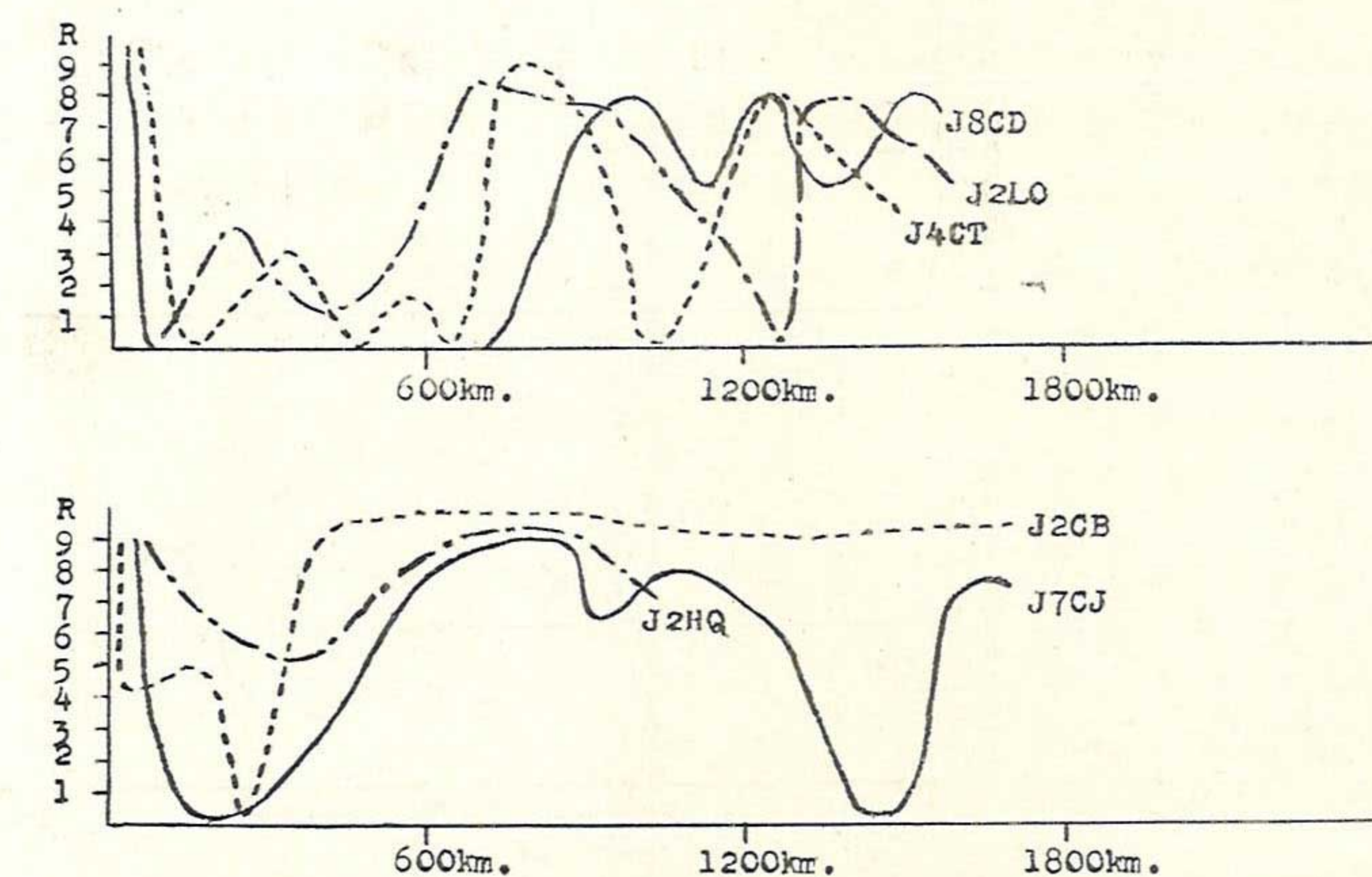
第 1 圖
a.m. 10.00~10.30



第 2 圖
p.m. 2.00~2.30



第 3 圖
p.m. 4.00~4.30



る。5CC, 4CT, 7CJ では極く近距離は分らないが大體上と同じ傾向らしく、唯2CBのは skip の模様は他と幾分異つて居り、之は夜の状態に似てるのは何故であらうか(第 4 圖参照)。しかし兎角この時間の skip は近距離通信に障害は與へなささうである。

第2圖 p.m. 2.00~2.30

2LO, 4CT, 2HQ の三局は第 1 圖の午前10時の場合と同様な skip で、此の時間、内地連絡は充分出来る。唯8CD及び2CBは上の三局と幾分違つて居る。しかし之もどちらかと言へば晝間型で決して skip 型とは言へぬ。之は 5CC の all R9 と 7CT の no skip からでも推量できる。

この時間に W9.7 VE5, の中 DX や XU の中距離が a.m. 10.00 より良好であるが之は之の時間には attenuate はするが、skip をせずに進む物と思はれ、海上では attenuate が少く陸に上ると急に attenuate するので大 DX は駄目なのであらう。之は ion 層が低いので反射の回数が多い爲であらうか、

第3圖 p.m. 4.00~4.30

之の時間では日没前の爲か、skip 型と晝間型を兼ねて居る 4CT, 8CD, 2LO, 7CJ 然り。故に此の時間には内地の連絡は既に稍困難となり逆に DX がそろそろ出だすのである。即ちこの p.m. 4.00~5.00 の間に ion 層が大きく移動するのであらう。従つて此の時間に南米方面に良いのも ion 層が高い爲であらう。私は良く知りませんが、この時間 28Mc. の感度が激變するのではないでせうか(28Mc.gang に御教示をお願いします)

第4圖 p.m. 10.00~10.30

夜中になると晝とは全く様子の違つた傳播状態を示す。即ち何れの局も例外なしに鋭い peak を作つて skip を示す。そしてその peak の位置が局に依り或る定つた間隔毎にある(300km.~500km.位)。之の時間は DX が相當良いが内地間では全く通信出来ないの此もの烈しい skip の爲である。

以上の様な物です、14Mc. がの傳播の状況を差別すると二つあつて假に名付ると晝間型と夜間型で此の二つが別になつて居る時もある、折衷型もある。之は晝間型が長波の性質を持ち夜間型が超短波の性質を持ち、之が空中の状態で左右されるわけで、つまり見方を變へると空中状態で skip の critical point が短波~超短波の範囲を移動し、ある場合は 7Mc. より長い物が skip を生ぜず短い物が skip を生じ、つまり 7Mc. が critical wave length となり、或時は 14Mc. とか 28Mc. で之が起るのではないかと思れる。

此の事は ion 層の反射の critical frequency の考へと同じである。

終りに JARL の皆様の種々の御援助を感謝致します。

故岡本一雄君を偲ぶ

(2)

- J4CP -

彼の研究は愈々度を深め度々「CO生」「KO生」等のペンネームで色々な雑誌に研究発表を試み斯界に相当貢献し始めた。又後進の誘掖にも力を惜まなかつた。諸方面から彼の手許には研究質問が澤山寄せられて居た事を僕はよく知つて居る。此の頃2ワットの送信機を作つて相当DXを嫁いで居た。昨年11月の陸軍特別大演習には僕と一緒に愛國無線隊員として首尾よく参加する事を得た武人を父に有つ彼は非常に喜んだものであつた。

無事任務を了へ歸省、二人して感激の光榮を祝し合つたのも今新しい思ひ出である。今年に入つて遽にハルピンの満鐵無線局に奉職することになつた。思ひがけぬ此の朗報は彼の勇氣を百倍したかの様であつた。前途有爲の若人よ！榮光あれと祈りつつ彼の出途をJ4CT君と共に祝福したのもタツタ此の春のことであつた。彼にも一陽來復の春が訪れたのである。蟄龍の躍昇すべき新方面が彼に展開されて來たのであると互に激勵し合つた。渡滿後彼は「諸物體に於ける超高周波抵抗」なる命題の下に蘊蓄を傾ける暇も惜んで研究に邁進して居た。其の研究論文も百餘枚に及んで居た。恰度其の時満鐵無線局の新局舎移轉が行はれて、彼には相當過重な激務があつたらしい。性來負けぬ氣の彼には些したる激務でも無かつたのであらうが、風土の激變も手傳つたものか晩夏以來病床の身を啣つこととなつた。臥床中も屢々醫者の言に背き852等を相手に超短波抵抗の研究に餘念なかつた。

そして再起の機を今か今かと待望んだものである。

無線局の方でも彼の此の研究に満服の支援を惜まず、只管其の研究完成を矚目して居たのであらう。

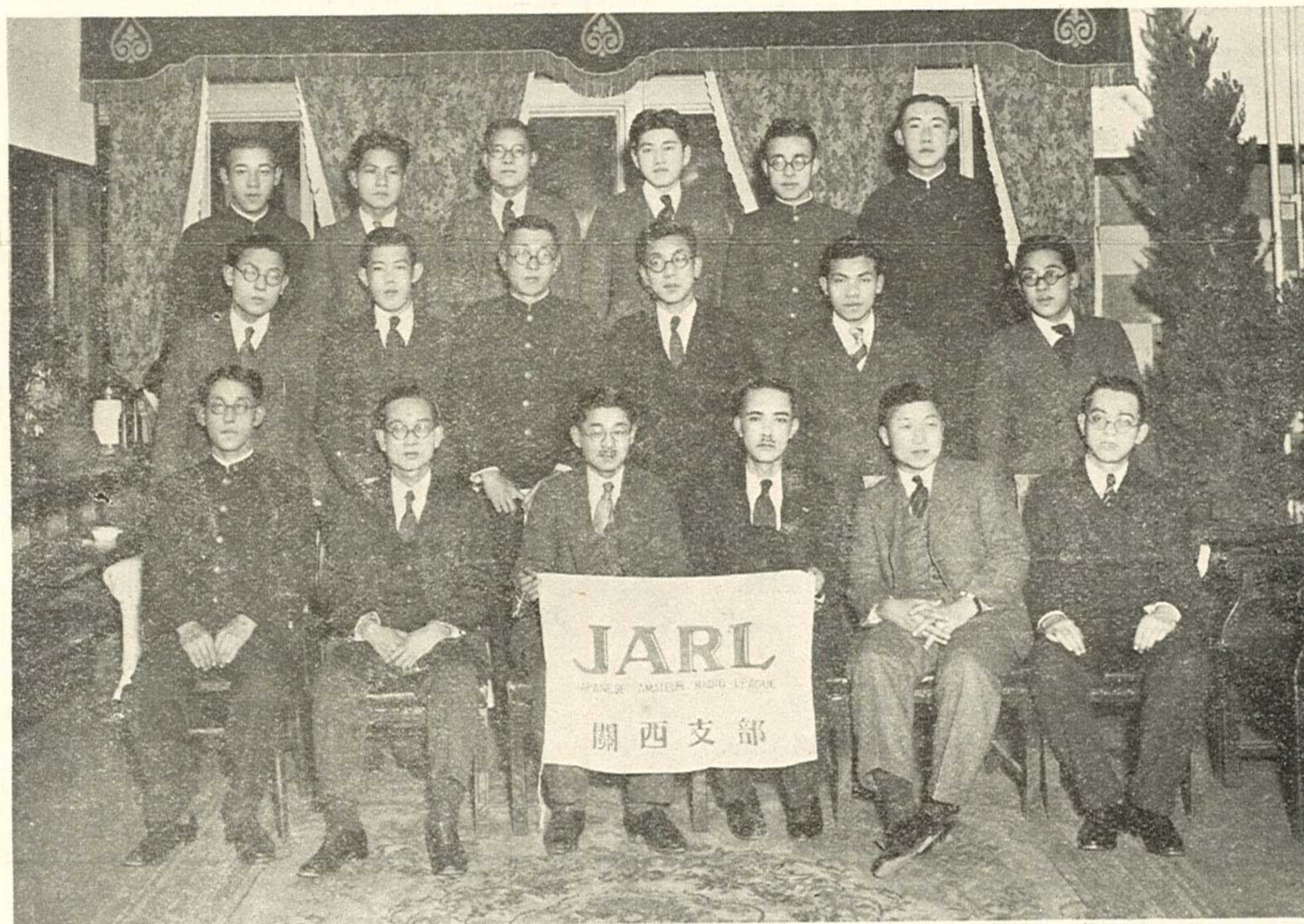
然るに何ぞ！未だ研究なかばにして遂に歸幽す。時に11月4日享年24歳。彼の訃を聞いて驚いたのは僕のみではない。あの温顔に接した誰もが等しく驚き、彼の將來を惜んだことであらう。實に才子多病とか、又天才薄命とか。

悲みの裡に變り果てた姿で彼は故郷に歸つて來た。そして満鐵やJARL支部、J3FJ、J4CT君等の贈つた澤山の花輪に囲まれ葬られ行く友を眺めて涙無しには居られなかつた。會葬して呉れたJ4CT、J4CV君達との囁聲も兎角杜絶え勝ちである。言い知れぬ悼しき、哀れさの中

JARL 關東支部お正月のミーティング



JARL 關西支部お正月のミーティング



に颯を吹く晩秋の風、一抹の悲哀を乗せ、愁歎の涙が又してもこみ上げて來る。墓前に頷垂れたCT君と僕との悼しく可憐な姿！ 家族席から歎歎の聲！ 等々只々冥福を祈るの他今言辭無く筆とる力も無い。數日後遺稿整理に彼の宅を訪れた。南面の陽の射しよい彼の書齋を常の様に窓硝子越しに覗いて見たが……今はもうあの温顔、ニコニコした明朗な彼の姿は見る術も無い。庭には無情の茶山花が去年と同じ様に咲き綻つてゐるが何かなしに秋の感傷が自ら湧いて斷絃の哀れさをつくづく覺えた。

目下遺稿整理中であるが、主要物は渡滿の折持參して了つて居る。其上ハルピン無線局在

勤中100パーセント力を突込んで起稿して居た「諸物體に於ける超高周波抵抗」の論文が彼と一緒に歸つて來なかつた事は何としても残念なことだ。今月は僕にとっては思ひ出多い月だ。又多忙な月でもあつた。これで筆を擱く。幸ひ御一讀を得れば、故岡本一雄君も地下で諾つて呉れることであらう。

亡き友に捧ぐ

華やかに歸り來ませと待ちにしを
友は柩の主と果てぬる。

我獨り取殘されし心地して
君亡き後は憂目つづきぬ。

(完)

盟員移動及び新施設許可

〔盟員移轉〕

- J2GR 笠原 功一
東京市大森區調布鶴の木町240
- J6DJ 相川 省吾
仙臺市小田原東裏丁7

〔盟員除名〕

- J6CI 青木 貞雄
- J6CX 小田 莊六

〔新施設許可〕

- J2OI 湯山 壽一
沼津市本字下一丁田889の1
10W. A1, A3, 7.1Mc. 14.2Mc.
(12—1—23)
- 2JOL 鈴木 定雄
濱松市廣澤町313
10W. A1, A3, 7.Mc. 14.2Mc.
28.4Mc. 56.8Mc.
(12—2—4)
- J2OM 山田 愿藏
東京市品川區五反田6の191
10W. A1, A3, 7.1Mc. 14.2Mc.
(12—2—5)
- J2OO 栗田 稔
濱松市廣澤町312の4
10W. A1, A3, 7.Mc. 14.2Mc.
28.4Mc. 56.8Mc.
(12—2—17)
- J2OR 崔 邦鎮
濱松市廣澤町252の62
10W. A1, A3, 7.1Mc. 14.2Mc.
28.4Mc. 56.8Mc.
(12—2—18)
- J2OS 柴田 俊生
東京市品川區大井立會町642
5W. A1, A3, 7.1Mc. 14.2Mc.
(12—2—17)
- J2DF 武田 健吉
金澤市鶴間町4地番の230
10W. A1, A3, 7.1Mc. 14.2Mc.
(12—1—23)

- J3GU 木村 茂幸
兵庫縣川邊郡稻野林字千僧
10W. A', A3, 7.1Mc. 1.42Mc.
(12—1—7)
- J4CW 樋端 薫
香川縣大川郡白鳥本町伊座480の3
10W. A1, A3, 7.1Mc. 14.2Mc.
(12—2—17)
- J6DT 渡邊 義俊
秋田縣南秋田郡五城目町字下夕町
410
5W. A3, 7.1Mc.
(12—1—8)
- J6DU 瀨川 正三
盛岡市大手先73
10W. A1, A3, 7.1Mc. 14.2Mc.
(12—1—23)
- J6DV 吉田 貞夫
秋田市手形谷地町上丁16
10W. A1, 7.1Mc. 14.2Mc.
(12—2—4)

〔廢止〕

- J2HM 高木 亨
- J2JY 前川 國威
- J3DR 増井 幸雄

〔裝置場所變更許可〕

- J2GR 笠原 功一
東京市大森區調布鶴の木町240
(12—2—15)
- J2GX 矢木 太郎
東京市澁橋區西大久保1の440
(12—2—13)
- J2IN 佐藤 謙次
濱松市上池川町247
(13—2—15)
- J2ON 森田 惹夫
東京市世谷區大藏町1876
(12—2—4)
- J5CT 松本 榮一
福岡市地行東町四番町286の2
(12—1—16)

Calls heard

(14Mc.)

- CE3AR CX1BB CX1BG F3KH FK8AA
- HC1FG HC2CG HC2JM LU1JH LU2CW
- LU2CA LU5AN LU6AX LU7AZ LU7BH
- LU8EN LU9BB PK1BX PY1BG PY1BR
- PY2AC PY2AJ PY2JO PY3AB U9AL
- VE4RO VE4CG VU2DY W1TW W1SZ
- W1DF W1TS W1GCX W2BSR W2EV1
- W2OC W2BUX W3EDP W3GEH W4EF
- W4BRZ W8KKG W8AU W9FFY ZE1JZ
- ZS2D ZS1Z ZS2B ZU1T ZU6AF ZU6P
- ZT6Y (Jan. 15-31. -J2MH-)

Q R G

- J2MF 7070.7kc. 1630JCT
- J2NN 7099.7kc. 1420JCT
- J2NG 7111.3kc. 1455JCI
- J2NK 7148.8kc. 1445JCT
- J2HY 7190.6kc. 1625JCT
- J3GQ 7190.8kc. 1655JCT
(Jan. 24. -J2HD-)
- J2NG 7110.7kc. 1943JCT
- J2NF 7137.3kc. 1045JCT
- J2NS 7072.2kc. 1133JCT
(Jan. 31. -J2HD-)

— JARL QSL Service —

JARL盟員より海外へのQSLは、Card一枚に付1銭の割にて2銭郵券を添へ

東京市澁橋區西大久保1丁目440
J2GX 矢木 太郎

へお送り下されば、QSLサービスを致します。

— JARL NEWS 原稿及び W. A. C. 證 —

無線に関する實驗研究、アマチュアラジオに對する希望、笑話等、歡迎致します
尙、應募御希望の方は

東京市目黒區三田40 J2IS 三田義治
へ御申越下されば、JARL NEWS 原稿用紙をお送り致します。
W. A. C. 證御請求の方は QSL Cards を添へ
J2IS 宛御申越下下さい。

JARL NEWS No. 60 【非賣品】禁無斷轉載

昭和12年3月9日印刷納本 昭和12年3月31日發行

- 編輯人 三田 義治
- 發行人 柳瀬 久二郎
- 發行所 日本アマチュア無線聯盟 (Japanese Amateur Radio League)
東京市芝區愛宕町1ノ20 逓信同窓會館内
- 本部宛所 東京中央郵便局私書函第377號 (P. O. Box 377, Tokyo)
- 事務所 關東支部 橫濱市中區本牧和田55 J2LU 下村 弘方
- 東海支部 四日市市南町 2688 J2CB 山口 喜七方
- 關西支部 大阪府下小坂町字上小坂873 J3FK 脇本 照郎方
- 東北支部 仙臺市小田原東裏丁7 J6DJ 相川 省吾方
- 印刷所 東京市日本橋區濱町 3ノ14 高陽堂印刷所